

## 令和7年度 第5回 Digital Innovation City (DIC) 協議会総会 議事要旨

- 日 時：令和8年3月18日（水）16時00分～18時00分
- 場 所：TFTビル 会議室 9-E
- 参加者：DIC協議会委員及び代理（計20名）

### ■ 議 事：

<令和7年度DIC協議会の状況に関する説明>

- 事務局より、配布資料【02】に沿って説明した。

<令和7年度PT会議の開催状況に関する説明>

- 事務局より、配布資料【02】に沿って説明した。

<PT事業の総括に関する説明>

- 事務局より、配布資料【02】に沿って説明した。
- 主な質疑応答・意見交換

- エンタメPTにおける教育的な活用の可能性について詳細を伺いたい。また、DIC協議会事務局が教育的な活用に向けた連携の仲介・支援等を行うことは可能なのか、未来館との連携も考えられるのか、現時点での想定を伺いたい。
  - 教育的な活用とは具体的に、運転技術の習得/向上や、交通モラルの向上などをバーチャルに学べるため、幅広い年齢層に向けて提供可能と考えている。DIC協議会事務局として教育機関等との連携の仲介・支援等は実施していきたいと考えている。
  - ぜひ未来館との連携も検討していきたい。本事業で開発したデジタルツイン技術は、若手レーサーの育成から、一般向けのエンタメ体験、子供のモータースポーツ業界との接点創出まで、様々な活用を想定しているところである。例えば、内閣府における実証事業においては、デジタルツイン技術を高齢者の事故防止・分析のために活用した。このように広い目線でデジタルツインの活用が可能であり、未来館も含め、様々な事業者・施設との連携・発信をしていきたい。
- 防災PTでは、3年間を通じて開発した防災イベントの型を、カスタマイズしやすいフォーマットへ発展させたことは、本年度の成果であると捉えている。今後の活用・横展開を期待している。
- 環境・サステナビリティPTでは、今年度の実証事業を通じて、コンテンツの蓄積だけでなく、プラットフォーム化を目指す準備ができたと捉えている。今後の展開を期待している。
- 各PT事業における令和8年度以降の方向にて記載されている「提供開始」という文言の意味を伺いたい。
  - 実証事業者が「事業化」を目指すという意味である。

以上